

あれこれかあ



ICHIKAWA LIBRARY

参考業務月報

2025年2月号

発行：市川市中央図書館 編集：レファレンスカウンター 〒272-0015 市川市鬼高1-1-4 TEL. 047-320-3346

	INF	REF	こども	電話	メール	中央計	行徳	BM	南行	信篤	平田	駅南	全館計
2月	797	389	570	24	3	1,783	713	63	172	203	76	480	3,490
累計	8,829	4,810	5,529	556	44	19,768	8,070	614	1,829	2,552	843	5,648	39,324

INF:インフォメーション・カウンタ REF:レファレンス・カウンタ BM:自動車図書館

📄 今月のレファレンス記録票から

分類

質問と内容

I/B5 市川市史、千葉県史に「五人組仕置帳」について記載されている資料はあるか。

『市川市史 第2巻 古代・中世・近世』（市川市史編纂委員会／編集 市川市 1974）p.494～495に「五人組」について記載された箇所はあるが、「五人組仕置帳」については掲載なし。『市川市史 第6巻 史料 近世 上下』（1972）にも「五人組仕置帳」は掲載なし。『市川市史料目録 第1集』（市立市川歴史博物館 1984）p.2 松沢家文書（旧鬼越村文書）「A.支配②法令・請書類」のNo.6に文政11年3月「五人組御仕置帳」との記載があるが、文書そのものは収録されていない。

NDL デジタルコレクションで「千葉県史」と「五人組仕置帳」をかけあわせて検索したところ、『千葉県史料 近世篇-[2-2] 下総国』（千葉県史編纂審議会／編 千葉県 1958）p.647 市川市「松澤まさ家文書」に「五人組仕置帳（文化八）」、『千葉県史料 近世篇-[3-2] 上総国』（千葉県史編纂審議会／編 千葉県 1961）p.623「長峰運家文書」に「五人組仕置帳（元治元）」、p.626「若菜潔家文書」に「五人組仕置帳（文化十三）」、p.630「高地萬壽吉家文書」に「五人組仕置帳（安永五）」との記載があったが、いずれも文書そのものは収録されていなかった。なお、『千葉県史料』は、NDL デジタルコレクション図書館送信サービスでも閲覧可能。

『川と村と人 葛飾風土史』（遠藤正道／著 遠藤正三，明光企画（発売）1978）p.121に行徳領猫実村の「五人組仕置帳」について記載されていたため、『浦安町誌 上』（浦安町誌編纂委員会／編集 浦安町役場 1969）を確認したところ、p.21～27に文久二戌年三月の行徳領猫実村の「五人組仕置帳」の全文が採録されていた。なお、浦安市郷土博物館収蔵品データベース（<https://jmapps.ne.jp/urayasufkm/index.html> 2025.3.19 確認）では、「五人組仕置帳」の一部が写真で掲載されている。

I/P8 国府台病院の捨てられなかったカルテについて知りたい。

朝日新聞クロスサーチより「朝日新聞 2023年12月10日」に「戦場で犯した罪 繰り返される悪夢 医師が守った兵士のカルテ」という記事の中で、軍によって焼却が命ぜられたカルテ（病床日誌）が残されていたことが記載されている。カルテが残された詳しい経緯はわからないが、当時軍医少佐として国府台陸軍病院の幹部であった浅井利勇氏は、カルテを保存・整理し、8002人分のカルテを分析した結果として『うずもれた大戦の犠牲者：国府台陸軍病院・精神科の貴重な病歴分析と資料』浅井利勇／編著（国府台陸軍病院精神科病歴分析資料・文献論集記念刊行委員会 1993）を自費出版した。また、国府台陸軍病院の「病床日誌」の複写版を中心に関連資料を編集復刻した『精神障害兵士「病床日誌」：資料集成 第1・2巻 神経衰弱編』（細渕富夫，清水寛／編 六花出版 2016・2017）が出版されている。

488.4 鳩が羽を広げず足を折り曲げてペタッと座っている理由（日光浴か）を知りたい。

『ハトと日本人』（大田眞也／著 弦書房 2018）に「鳩が座っている」ように見える写真があった。キジバトの日光浴（4月）の写真（p.60）、ドバトの日光浴（7月）の写真（p.97）で、キジバトは羽を広げて座っているが、ドバトは羽を広げていない姿で座っている。しかし、写真の説明は特にない。『鳥類 改訂新版（世界文化生物大図鑑）』（世界文化社 2004）p.328の「日光浴」の説明に、「鳥はある温度（好適閾値以上）になるとぱっと日光浴態勢をとる。これは羽毛を立て風をとおしながら太陽熱を羽毛層にいれ体表にあてる。（中略）しかし外気温がさらに上昇して耐熱閾値に達すると、羽毛をびたっとおして外気熱を遮断してパンティングをつづける。」とあり、この態勢が該当するのではないかと考えられる。他に、座る動作に言及していたのは、『身近な鳥の生活図鑑（ちくま新書）』（三上修／著 筑摩書房 2015）で、第3章ハトのp.102～104「求愛のお作法」に、「（前略）互いにくちばしを甘噛みして、（中略）そんなことを繰り返していると、だんだんメスもその気になるのか、しゃがみます。」との掲載あり。

911.14 明恵上人の歌「かきつくる あとにひかりのかがやけば くらきみちにも やみははるらん」の意味を知りたい。

『明恵上人集』明恵／著（岩波書店 1981）p.39, 260より「明恵上人歌集」126、「新勅撰和歌集」巻十釈教歌 626との掲載があったが意味や解説は掲載なし。『新日本古典文学大系 46 中世和歌集 鎌倉篇』（佐竹昭広／[ほか]編集委員 樋口芳麻呂／[ほか]校注 岩波書店 1991）明恵上人歌集 126（p.255）、『新勅撰和歌集全巻 3 巻第七～巻第十』（神作光一、長谷川哲夫／著 風間書房 2000）巻十釈教歌 624（626は別歌）p.288～289に注釈あり。なお、『新編国歌大観 第1巻 [1] 勅撰集編』（「新編国歌大観」編集委員会／編 角川書店 1983）p.272より歌番号624は旧『国歌大観』では626と記載されていた。

他にもこんな質問ありました（クイック・レファレンスから）

分類	質問	⇒ 回答、補足事項、蘊蓄など
I/C4	「富士見十三州輿地全圖之内安房・上総・下総三國圖」の発行年を知りたい⇒『江戸時代 日本国絵図選要 [正]』（人文社 1979）より天保14年（1843年）	
070.4	読売新聞 2010年2月の静岡県の地域版を見ることはできるか⇒契約している読売新聞データベース「ヨミダス」では1986年からの新聞記事の検索ができ、地域版も閲覧可能。	
493.1	クロウ深瀬症候群について知りたい⇒『症候群ハンドブック』（井村裕夫／総編集 福井次矢、辻省次／編集 中山書店 2011）p.57に「クロウ・深瀬症候群」の項あり、『難病事典』（尾崎承一／編集責任 学研メディカル秀潤社、学研プラス（発売）2015）p.53～56に「単クローン抗体を伴う抹消神経炎（クロウ・フカセ症候群、POEMS症候群）」が掲載されていた。WEBでは「難病情報センター」のホームページに「クロウ・深瀬症候群（指定難病16）」（ https://www.nanbyou.or.jp/entry/82 2025.3.19確認）が掲載されている。	
494.7	大腿骨内顆骨壊死という膝の病気の病態や治療法について知りたい⇒『ひざ痛 変形性膝関節症 ひざの名医15人が教える最高の治し方大全』（文響社 2020）p.203に症状や保存療法・手術について簡単にまとめられている。他に『標準整形外科学 第12版』（松野丈夫、中村利孝／総編集 馬場久敏／[ほか]編集 松野丈夫／[ほか]執筆 医学書院 2014）p.692～693、『整形外科臨床パサージュ 2 膝の痛みクリニカルプラクティス』（中村耕三／総編集 宗田大／専門編集 中山書店 2010）p.227などを紹介。	
593.3	裏地のあるコートの作り方が載っている本を見たい⇒『ドレメファッション造形講座 7 コート』（杉野学園ドレスメーカー学院出版局、ブティック社（発売）2002）が詳しい。他に『誌上・パターン塾 Vol.5 ジャケット&コート編』（まるやまはるみ／監修 文化出版局／編 文化学園文化出版局 2019）、『コートの本』（笹原のりこ／著 文化学園文化出版局 2020）などを紹介。	
653.2	枯葉の葉脈から何の樹かわかる図鑑はないか⇒『落葉樹の葉 拓本図譜（山溪ハンディ図鑑12）』（田中啓幾／著 山と溪谷社 2008）は、実物の葉の裏面にインクや絵具を塗ってその形状を写し取り、実物大に収録した図鑑。「葉の裏面は葉脈の形状や色、つや、毛、腺など、多くの形質が安定しており、種の特徴がより明確にあらわれます」とあり、図はすべて葉の裏面を掲載。	